

【安八町／大垣市・安八郡安八町東安中学校組合】

校務DX計画

安八町及び大垣市・安八郡安八町東安中学校組合では、令和2年度からの1STGIGA端末末整備の際、学校での授業中や家庭学習におけるツールとして活用しています。

校務については、県域で統一された統合型校務支援システム（Te-Comp@ss）を活用することにより、教職員の出退勤や時間外勤務等の管理を行っています。

また、「すぐーる」での保護者からの欠席連絡の授受や、電子黒板や大型提示装置の配備により、授業の幅を広げ児童生徒の学びの確保及び教職員の働き方改革にも一助を担っています。

他にも、デジタル化・オンライン化を進めていますが、学校現場においては、いまだ紙媒体の使用が多くあります。FAXの使用の制限を依頼しても、なかなか周知されていないのも実情です。

学校便り等を「すぐーる」へ添付することによる、ペーパーレス化をさらに進めていく必要があります。ペーパーレス化は、教職員の印刷業務の負担を軽減する意味でも、非常に重要であると考えています。

また、学校現場の業務削減に伴い、RPA・生成AI等を有効活用し、定常業務の自動化、校務の効率化への利用について検討を行っていきます。

今後の校務DXに係る具体的な取組について・・・

I：ゼロトラスト環境の構築

(1) 校務系システムのパブリッククラウド化

現在、安八町及び大垣市・安八郡安八町東安中学校組合において、セキュリティ面は強化されていますがクラウド化が進んでいません。既設のサーバも古く容量も少なく限られているため、できるだけ早くにクラウド化を進めていく必要があると考えています。保守業者の指導も受けながら、今後、ゼロトラスト化を想定した準備を進め、さらなる調査・研究・検討を学校現場の声も聞きながら実施していきたいと考えています。

(2) 校務支援システムのクラウド化

現在、成績管理・保健・学籍情報などを有している校務支援システムは、令和8年度の次期校務支援システムの更新を目指しています。

クラウド化やセキュリティ強化等、県の共同調達により自治体間で協議しながら進めていきます。